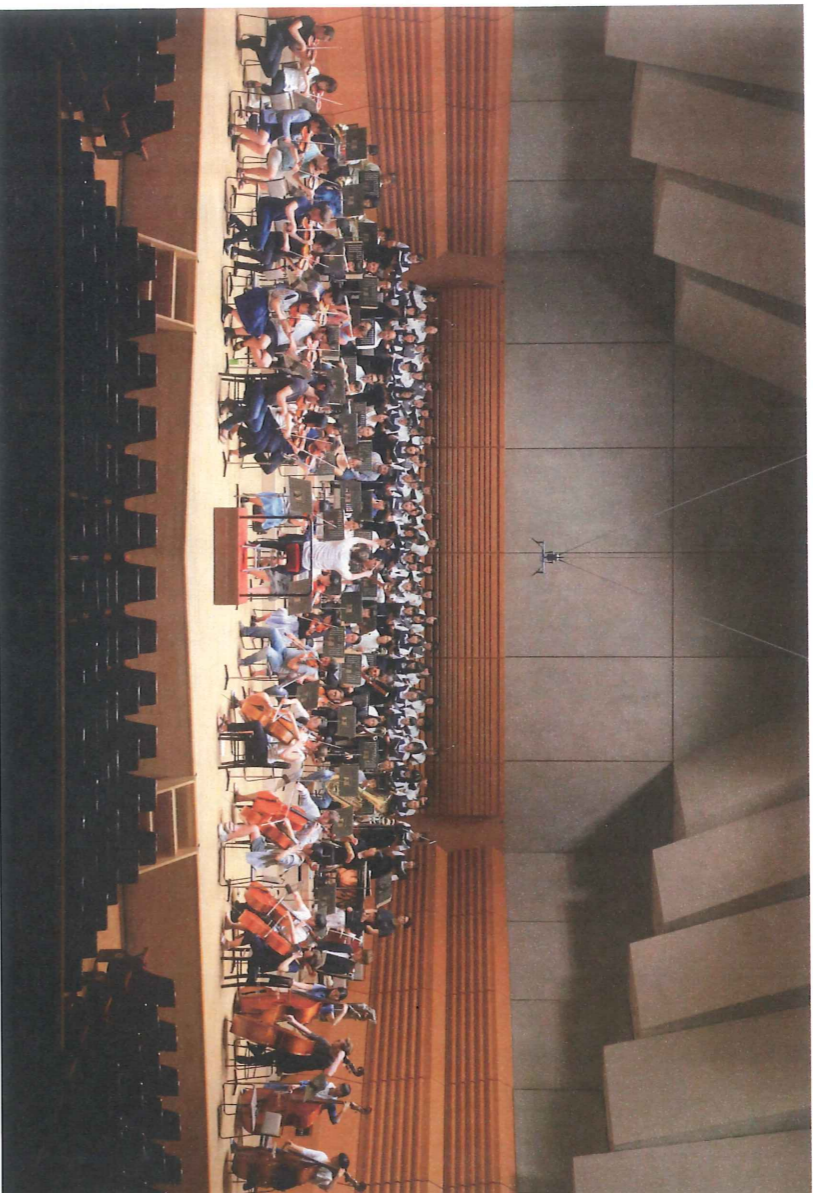


7月23日(土)、今年も日立システムホール仙台のコンサートホールにりく、透明感のある音色が響き渡った。日立システムズ「希望の響き」シリーズ東日本大震災復興祈念チャリティコンサート「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー公演」も今年で3回目。ラストナンバーでは地元、宮城県宮城第二高等学校管弦楽部、宮城県仙台西高等学校合唱部、尚絅学院中学校・高等学校合唱部が共演し、若々しく、情熱にあふれた演奏を聴かせてくれた。



公演直前のリハーサルの様子

若者あふれる『希望の響き』が未来の力に

日立システムズでは東日本大震災直後から「トサトビ」を通じて復旧・復興支援やボランティア活動などを通じた生活・環境面での支援に取り組んできた。2013年に仙台市青年文化センターの「ネーミングライツ」を取得し、愛称を日立システムズホール仙台と「ナイコンサート」ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー公演「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル(以下NYSE)」を招き、「ニューヨーク・シンフォニック」を開催した。今年プログラムは誰にでも喜ばれ、親しみやすく、未来への活力になるような楽曲を選定。復興に向かい一歩一歩確実に前進を続ける人々に勇気を与える、ダイナミックな演奏を披露した。

このコンサートの目玉のひとつがラストナンバーでの地元の生徒たちとのコラボレーション。今年には宮城県宮城第一高等学校管弦楽部、宮城県仙台西高等学校合唱部、尚絅学院中学校・高等学校合唱部の約100名の生徒が共演を果たした。「今回の共演にはチャイコフスキの『序曲』1812年作品49』を選びました。これはロシアが困難を乗り越え勝利を祝う曲で、祝典や祭りなどでよく演奏される、力強い迫力ある曲です。復興に向かうみなさんを後押しできればと思つて選びました」と話すのはNYSEを率いる指揮者兼音楽監督の高原守さん。今回も事前に高原さんとパイオリニエ下の伊藤舞希子さんは3校とリハーサルのために来仙。緊張感の中にも思いやりにあふれた指導と生徒たちの努力の成果が今日の素晴らしい演奏につながった。



NYSE 指揮者兼音楽監督 高原 守さん

本日は、日立システムズ「希望の響き」シリーズ「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー 2016」にお越しいただきありがとうございました。今年度の中高校生の皆さんとの共演曲であるチャイコフスキ作曲「1812年」は、演奏する人たちにとってとても大切なメロディの曲です。基本を学ぶこと、「五度圏」を学ぶことによって、音楽を理解し、演奏がやりやすくなります。この曲は博覧会などの際に派手に演奏されることが多いのですが、私は平和を願うように安らぐ演奏を試みました。聴いていただき、きっとそのように感じていただけたのではと思っております。今年も生徒の皆さん一人一人がとてもしっかりと生きていると感じました。何事も楽しんで頑張ることが大切ですね。チャレソジする気持ちを大切にこれからも皆さんの道を進んでいきたいと思います。

〈特別共演〉 宮城第一高等学校

■所在地：〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡1-6-2
■電話：022-227-3211

仙台西高等学校 (今回のコンサートは女声のみ参加)

■所在地：〒982-0806 宮城県仙台市太白区御堂平5-1
■電話：022-244-6151

尚絅学院中学校 / 尚絅学院高等学校 (中高合同)

■所在地：〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡1-9-27
■電話：022-264-5881

7月22日、本番に向けての最後の3校合同リハーサル

コンサート前日の7月22日は、公演会場となる日立システムホール仙台にNYSEのメンバーと3校の生徒が一堂に会しての合同リハーサル。緊張した表情の生徒たちも、高原さんの笑顔と「思いつき」で演奏してください。集



本日のコンサートの模様を TBSテレビで放送決定!

希望の響き (仮)

8月19日(金) 9:55~10:25(予定)

NYSEと中高生たちの共演に密着。
指揮者・高原さんの被災地に寄せる熱い想いに迫ります。



＝本番までのおゆみ＝

宮城一高での事前練習



ナライオンの正しい弓の持ち方から難しいテクニックまで丁寧に指導する伊藤さん

校・高等学校合唱部も定期演奏会や
は女声のみの参加だ。尚絅学院中学
クールや地域のイベントで活躍。今回
学校合唱部は男女の混声合唱団。コン
合唱部が加わる。宮城県仙台西高等
楽部との共演だったが、今年は2校の
過去2回の公演では宮城一高管弦
を訪問した。

宮城第一高等学校(以下、宮城一高)
希子さんが多忙な合間を縫って宮城県
高原守さんとバイオリンの伊藤舞
ため、NYSEの指揮者兼音楽監督の
コラレクションする曲の事前練習の
6月28日、公演のラストナンバーで

今年は2校の合唱部も参加 宮城一高管弦楽部に



「練習だから間違えて当たり前。さあ、思い切り音を出して」と生徒たちにアドバイスを送る高原さん

学校行事、地域の催しなどに積極的に
取り組んでいる。

約100名の若さを結集して 難しい曲へチャレンジ

共演するチャイコフスキー「序曲1
812年作品49」は、変調が多く、演
奏するのは難しい曲。そこで高原さん
が曲を深く理解し演奏するためのボイ
ントをアドバイスした。

「五度圏を知っていますか。この法則
が分かります。調が変わる曲も上手く演
奏できます。後で調べてみてください
ね。合唱を担当する生徒にも「この
曲は凱旋、お祝いの歌ですから、オー
ケストラの音に負けないように思い
切つて歌ってください」とアドバイス。
その後も曲を通して演奏しながら、楽
器ごとの演奏のコツを丁寧に伝授。緊
張感と充実感のある貴重な時間を過
ごした。



昨年1年生で参加したので
無我夢中でしたが、今年は部長
としてまとめていく立場です。全
体としては昨年より技術が向上
していると思うので、曲は難しい
ですが、準備をしっかりといい
演奏をしたいし、プロの演奏か
らひとつでも多くのご褒めを収
めたいと思います。



宮城県宮城第一高等学校管弦楽部
部長 村上詩織さん

私たちは男子5名と女子42
名の混声合唱団です。これまで
さまざまなコンサートに出場して
きましたが、一流のオーケストラ
との共演は初めてです。最初に
共演のことを聞いた時、とてもワ
クラクしました。事前練習では緊
張しましたがいるいるな発見が
あり、充実感がありました。



宮城県仙台西高等学校合唱部
部長 佐藤里佳さん

尚絅学院の合唱部は中学生
と高校生合わせて25名という
構成です。共演できると聞いた
時はとても光栄に感じたと同時
に「付いていけないかな…」とい
う不安も感じました。でも事前練
習を経験したことで、曲への理
解も深まったと思います。ハー
モニに気をつけて頑張ります。



尚絅学院高等学校合唱部
部長 柳瀬そらさん



指揮者兼音楽監督
高原守さん



バイオリニスト
伊藤舞希子さん

「序曲1812年作品49」は、ナライオンのロシア遠
征を描いた曲です。最終的には攻められたロシアが
逆転して勝利します。それを祝う曲でもあり、祭りや
開会式などにも演奏される迫力ある曲です。調が度々
変わる難しい曲でもありますが、演奏家のバリエアルと
もいえる「五度圏」の法則を学ぶためにもいい経験に
なると思います。

NYSE String Quartet

バイオリニスト
マテウス・スーザさん

バイオリニスト
ヘンリー・フローリーさん

バイオリニスト
メーガン・グラフィンさん

チェリニスト
パトリック・ホブキンスさん



透明感のある音色を奏でる NYSE String Quartet

「とても素敵な音色でクラク
しました。ピアノで練習したこと
があるので『くるみ割り人形』の
曲が特によかったです。『迫力の
ある演奏で感動しました。教科書
に載っていたモーツァルトの曲が
聴けてよかったです!』と参加した2
人の小学5年生が楽しそうに感
想を話してくれた。

7月22日
NYSEメンバー4名による
ミニコンサートを開催
7月23日(土)の演奏会本番を
前に、東日本大震災からの復興が
進む名取市にNYSEメンバーの
さん、バイオリニストのマテウス・スーザ
さん、チェリニストのメーガン・グラフィ
ンさん、バイオリニストのバトリック・
ホブキンスさんが訪れ、ミニコン
サートを開催した。
会場となったのは、名取市下増
田児童センター。エルガー「愛の
クラインナハトムジークより第一
あいさつ」、モーツァルト「アイネ
ライエナハトムジークより第一
楽章」、チャイコフスキー「くるみ
割り人形」、「となりのトトロ」、
演奏。参加した名取市立下増田
小学校の児童たち、約100人が
一流の音楽家たちの演奏に酔いし
れた。



真剣に耳を傾ける名取市下増田の小生たち

NYSEが名取にやってきました!